

導入成功事例 | 政府・自治体

テキサス州ヒル郡

郡の裁判所が連携する各種機関に即時アクセスを提供し
時間とコストを削減

課題

テキサス州ヒル郡では、ほぼ10年間にわたって、ハイランドが開発したOnBaseエンタープライズコンテンツ管理ソリューションを使用して、コンテンツの管理とプロセスの自動化および簡素化を実施してきました。郡の業務の中には、裁判所の外で行う業務があり、スタッフは外出先からファイルや文書にアクセスする必要があります。そのような場合、残念なことに情報を閲覧するには、裁判所まで行かなければならないことが多くあり、しかも情報の入手は、裁判所が開いている午前8時から午後5時までに限られていました。

スタッフが裁判所の外で使用するため原本ファイルのコピーをとるのに多くの時間を費やすことになれば、すでに困難なプロセスにさらに時間とコストを上乗せすることになります。クライアントの秘密保持とファイルセキュリティを確保するため、法廷審問の準備は裁判所で行わなければなりません。判事が未決の訴訟事件一覧や訴訟答弁の確認を裁判所で行うように、弁護士も裁判所に保管されているファイルにアクセスする必要があります。中にはテキサス州オースティン在住の弁護士も含まれ、ほぼ200キロの移動を余儀なくされる状態でした。

多くの小さな郡と同様に、ヒル郡はこのような課題を解決するソリューションを探す際、所有している技術のツールを活用して既存の投資を最大限に活かす必要もありました。

郡のIT部長Sharon Camarillo氏はコスト効率があり、セキュリティを重視したコラボレーションについてソフトウェア開発者の知識を活用するためハイランドに着目しました。ハイランドの年次ユーザーカンファレンスにおいて、Camarillo氏はハイランドの新しい取り組みであるShareBaseについて知りました。

「ShareBaseが発表されるやいなや、郡全体のコラボレーションギャップを確実になくすには、我々が必要としているソリューションはまさしくこれだと分かりました」

ヒル郡IT部長 Sharon Camarillo氏

ソリューション

ShareBaseを活用するヒル郡では、裁判所の外からでも重要な文書を入手できるアクセスを適時に提供しています。スタッフや弁護士などは、無駄な移動時間を費やす、紙のファイルを扱う、さらには文書を閲覧するために実際に裁判所に行くといった負担から解放されました。この情報を提供することはヒル郡にとって非常に有益な取り組みとなりました。それは、時間を節約する、プロセスを簡素化する、さらには記録管理者が誰にコンテンツへアクセスするか許可を与えるからです。許可されたユーザーは、事務所に連絡して情報を入手する必要がないため、ユーザーと郡事務所の効率が上がります。



お客様
ヒル郡

業界
地方自治体

規模
居住者数: 約3万5千人

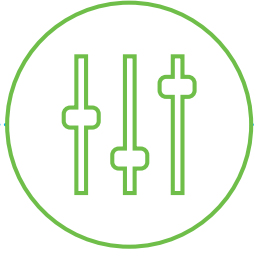
所在地
テキサス州ヒル郡

部門
911住所システム(保安官事務所)
郡判事
IT
遺言検認裁判所

平均ファイル共有統計数
およそ1万部の文書をアップロード

連携する外部機関
外部政府機関、業者、市民
テキサス州ファミリー保護局と児童保護サービス
地域弁護士

ShareBaseの特長



職務に基づいた
セキュリティ



プライベートホスティング



自動共有

ShareBaseは、ファイルアクセスに加えて、文書編集や文書に行った他のアクションとアクションを行った日付に対する監査証跡も作成します。セキュアなアクセスを提供するため、ShareBaseではユーザー認証が要求されます。こうすることで、許可されたユーザー以外は、文書を扱うことができなくなります。

ヒル郡は、さまざまな方法でShareBaseを使用しています。The Texas Department of Family and Protective Services (テキサス州ファミリー保護局)の弁護士は、ShareBaseを使用して児童保護サービスの事件簿にアクセスしています。ShareBaseは、情報アクセスを許可された人以外にはアクセスを付与しません。そのため、事件に関する秘密情報が保護されます。ShareBaseでは、数時間の移動にかかる高額な費用が排除されます。また、地方の裁判所で仕事するのではなく、どこからでも事前に訴訟の準備を行えます。

さらにShareBaseは、ヒル郡の郡判事と検認判事にセキュリティと利便性も提供します。ヒル郡の検認判事はShareBaseを利用することで、裁判所の事務所で働く代わりに、どこからでも未決の訴訟事件一覧と各日の訴訟答弁を参照できるようになりました。「今では、行く先々でタブレットや携帯電話から遺言検認案件を取り出すことができます」とCamarillo氏は説明します。

緊急医療サービスも重要な文書にShareBaseを使ってアクセスしています。911の住所システムでは、ファイルの安全性だけが重要だというわけではありません。911住所システムの担当者は、住所変更を処理し、情報の整合性を確保するため、その変更を速やかにデータベースに登録する必要があります。ShareBaseを利用すると担当者は、現場からまたは勤務時間外でもファイルにアクセスできます。これにより、初期対応者や取締機関の職員は、情報の信憑性を気にすることなく、適切な位置に移動できます。初期対応者が現場で特定の住所に関する文書を表示できることは、安全性のレイヤが追加されたことを意味します。

OnBaseの優位性

いつでも情報を入手でき、高額な移動経費を排除

ShareBaseは、検認判事や州検事から911住所システム担当者に至るまで、関係者による裁判所への行き来にかかる不必要な移動を排除します。その結果、その時間を有効に使い、業務効率の向上と迅速な対応を可能にします。すべてを即時に入手でき、いつでもどこからでも情報を入手できます。

安全で正しいアクセスを監査証跡から保証

ShareBaseの監査証跡は、文書アクセスに完璧な可視性を提供します。ファイルに行った変更はすべて記録されます。またアクセスを許可されたユーザー以外変更を行うことはできません。

安全でセキュアなファイル共有とストレージ

ファイルは一箇所に保存されEメールで共有するのではなく、システムによって自動的に共有されます。特定の文書にアクセスする必要があるユーザーのみが、個別に許可された権限を使用してアクセスできます。

詳細は ShareBase.com をご覧ください。